

令和3年度事業実績

○ふれあいきいきサロン	秋からの実施
○子育てサロン	多くは中止
○世代間交流事業	新型コロナ禍でほとんどを中止
○花だより事業	検討し、実施をいたしました。事業の実施についても、事業
○広報紙発行	今後ともご理解とご支援をお願いいたします。
○世代間交流事業	の中止や延期も考えられます。流行の状況を見ながら
○一人暮らし高齢者	検討し、実施をいたしました。事業の実施については、事業
○おもしろ科学実験	の中止や延期も考えられます。流行の状況を見ながら
○福祉協力員及びサロン代表者研修会	今後ともご理解とご支援をお願いいたします。
○地域福祉活動検討会議	検討し、実施をいたしました。事業の実施については、事業
○福祉協力員及びサロン代表者研修会	の中止や延期も考えられます。流行の状況を見ながら
○一人暮らし高齢者	検討し、実施をいたしました。事業の実施については、事業
○給食サービス	の中止や延期も考えられます。流行の状況を見ながら
○2月に実施	今後ともご理解とご支援をお願いいたします。

令和4年度総会報告

令和3号
令和4年8月28日
発行
真津山小校区
社会福祉協議会
電話26-5579
事務局25-0920

令和3・4年度収支報告

令和4年度収支予算	
収入の部	
前年度繰越	1,005,748
会費	315,300
活動助成金	992,020
その他	932
合計	2,314,000
支出の部	
納入金	315,300
事業費	996,150
その他	1,002,550
合計	2,314,000

令和3年度収支決算報告	
収入の部	
前年度繰越	834,645
会費	315,200
活動助成金	1,036,730
その他	72,186
合計	2,258,761
支出の部	
納入金	315,200
事業費	711,481
その他	226,332
合計	1,253,013
次年度繰越	1,005,748



真津山小校区 社協だより

令和4年度総会報告

第45号
令和4年8月28日
発行
真津山小校区
社会福祉協議会
電話26-5579
事務局25-0920



◆ 本年度の重点目標

- ◎校区社協事業として取り組む事業及び「高齢者一人暮らし」事業の充実（花だより・一人暮らし高齢者の集い・給食事業等）
- ◆ 通年目標

 - ・校区住民へ校区社協のPR
 - ・ボランティアの発掘と活動の展開

令和4年度事業計画

3月 1月 11月 10月 7月 6月 5月 4月 1月

- ・ 第50回定期総会
- ・ 第51回おもしろ科学実験
- ・ 第45号広報紙発行
- ・ 第52回おもしろ科学実験
- ・ 第46号広報紙発行
- ・ 真津山小1年生との昔遊び
- ・ 一人暮らし高齢者への給食サービス

寄付のお礼

今年度は役員の交代期ではあります。監事の変更がありましたが、その上でお知らせします。

真津山小校区社会福祉協議会に次の方から寄付をいただきました。誠に有り難うございました。

新任 本多 隆（若葉町）
退任 橋本 勉（若葉町）

○香典返しとして
久山町 南条 博様
(亡母 ムメ子様)

○地域福祉活動検討会議
○福祉協力員及びサロン代表者研修会
○一人暮らし高齢者
○給食サービス
○2月に実施

新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染するため、3密（密閉・密集・密接）の環境で感染リスクが高まります。

以下のような「5つの場面」でも感染が起きやすく、注意が必要です。

暑い中、マスクの着用はきついところもあります。しかしながら、個人での注意も必要です。
患者数の増加が止まりません。改めて諸注意を喚起することで、掲載します。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- ・気分高揚による注意力低下
- ・聴覚鈍麻により大声になりやすい
- ・狭い空間で長時間・大人数の滞在
- ・回し飲みや箸などの共用



場面② 大人数や長時間における飲食

- ・長時間における飲食、接待を伴う飲食、深夜のしごきなど
- ・5人以上の飲食では大声になり飛沫が飛びやすい



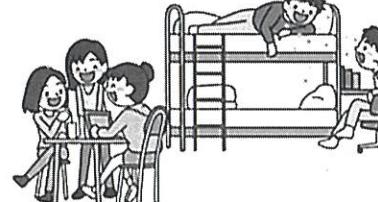
場面③ マスクなしでの会話

- ・近距離での会話による飛沫感染
- ・感染例として事例のある屋内カラオケなど
- ・車やバスなど、車中でも注意が必要



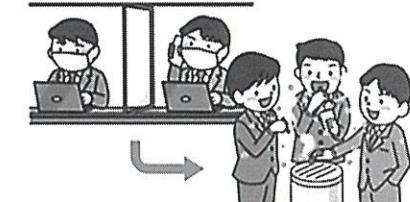
場面④ 狹い空間での共同生活

- ・長時間にわたる閉鎖空間が共有されるため感染リスクが高まる
- ・感染疑いの事例のある寮の部屋やトイレなど共用部分



場面⑤ 居場所の切り替わり

- ・環境の変化により感染リスクが高まる
- ・休憩時間に入った時など、居場所の切り替わりによる気の緩み
- ・感染疑いの事例のある休憩所、喫煙所、更衣室



内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策 感染防止特設サイト」より
URL: <https://corona.go.jp/proposal/> (2022年8月15日時点掲載分) ※文章をより短く記載しています

フレイル予防に

最近瘦せてきた、すぐ息切れする、疲れやすくなったり、外出がおつきうになりやすいなど、年齢を重ねると誰もが感じることです。このような虚弱の状態のことを「フレイル」といいます。ご家庭で簡単にできる予防のための運動を紹介します。

左利きの方は、②と③を左手でどうぞ。
いずれも、ゆっくりやつけてください。上手にできることよりも戸惑つてやつていくことで「脳トレ」となっています。

8月も暑い日が続きました。それでも、テレビでは、新型コロナウイルス感染症の陽性の数がどんどん増えていることがニュースとなっています。諫早市でも、毎日のように3桁の患者数続きます。

さて、テレビでは、新型コロナウイルス感染症の陽性の数がどんどん増えていることがニュースとなっています。諫早市でも、毎日のように3桁の患者数続きます。

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策 感染防止特設サイト」より
URL: <https://corona.go.jp/proposal/> (2022年8月15日時点掲載分) ※文章をより短く記載しています

①両手でじやんけんをします。
「じやんけんぽん」と
言葉に出し、
同じものを出します。

②次も両手でじやんけんをします。
同じように「じやんけんぽん」と
言葉に出し、右手が
勝つように出します。

③今度は、先ほどの逆で、
両手でじやんけんをします。
同じように「じやんけんぽん」と
言葉に出し、右手が
勝つように出します。

負けるように出します。

地域福祉を進めるうえで、「共助」は外せません。新型コロナウイルス感染症の影響で地域の祭りや行事が中止になってしまいます。共助の第一歩は、近所の方との言葉を交わすことからでしょう。「暑いですね」とマスクを気にせず挨拶ができる日々となつてほしいと感じています。「ほっこりん」の挑戦を応援していきたいものです。

編集後記

左利きの方は、②と③を左手でどうぞ。
いずれも、ゆっくりやつけてください。上手にできることよりも戸惑つてやつていくことで「脳トレ」となっています。



かわいい表札ですね

各町には、真津山小校区社会福祉協議会が中心となつて民生児童委員の方々やボランティアの方々が運営をされている高齢者サロンがあります。これと別に、民間の方がより地域に密着して、気軽に立ち寄る場所として提供された「ほっこりん」が、5月18日に貝津町に誕生しました。たとお聞きしたので取材に行きました。

寄りとこる『ほっこりん』訪問



皆さん、お待ちしています

代表の平山百合子さんにお話を伺いました。諫早市の高齢介護課が中心となつて開催された「語らん場」で、地域で簡単に高齢者も子どもたちも気軽に集まることができる場所の設置について、話が出ていました。そこで、貝津町の山寄貢様のご厚意でお宅を利用させていたくめどがつき、地域の有志で準備を始めました。毎月1回第4水曜日に開催をしていきました。



開所日の様子です

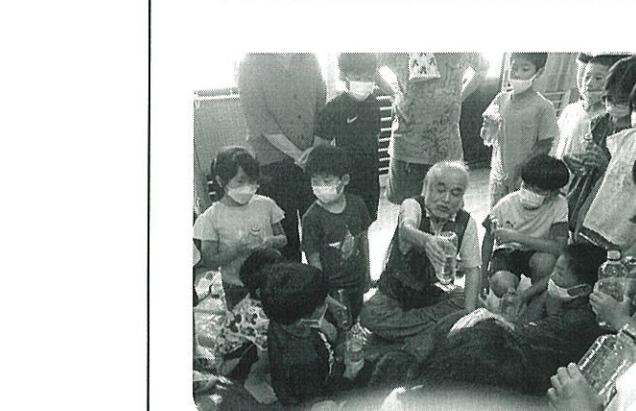
団塊の世代が後期高齢者となるいわゆる「2025問題」は、避けて通ることができません。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事やイベントが中止や延期になるなど、暑い夏とも相まって家にいる時間が増えてきています。防災の

【いきいきサロン】

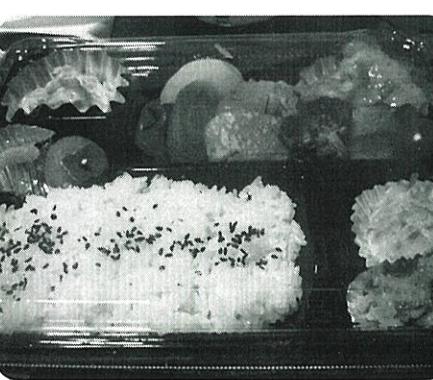
	貝津町	久山町	久山台	若葉町	青葉台
貝津町	— 第1火曜日	— 第3金曜日	— 第2火曜日	— 第2火曜日	— 第2土曜日
久山町	— 第4火曜日	— 第3木曜日	— 第3木曜日	— 第2水曜日	— 第2水曜日
久山台	— 第4火曜日	— 第3木曜日	— 第3木曜日	— 第2水曜日	— 第2水曜日
若葉町	— 第4火曜日	— 第3木曜日	— 第3木曜日	— 第2水曜日	— 第2水曜日
青葉台	— 第4火曜日	— 第3木曜日	— 第3木曜日	— 第2水曜日	— 第2水曜日

◎各町サロンの開催予定日

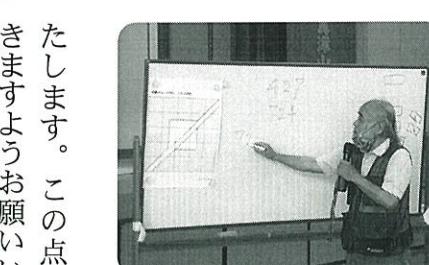
コロナ禍ですが、真津山小校区社会福祉協議会の事業だけではありません。少しだけで結構です。何かに参加をしてみませんか。取材を終えました。



しっかり説明聞いて、みんなでやってみよう

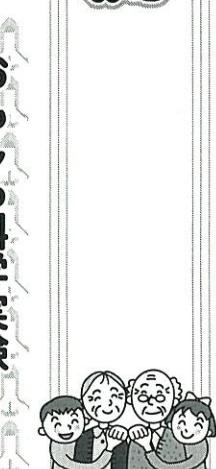


出来上がり！美味しいそう!!



密を避けるため参加できる児童の人数制限をして真津山小学校の体育馆で開催いたします。この点をご理解いただきますようお願いいたします。

調理をしてくださる婦人会の皆様、配達をされる民生児童委員の皆様は、一軒一軒訪問をして、語りあいながら、配達サービスを支えおられます。このサービスが地域をつなぐ絆づくりとなっています。



ここ3年間、「一人暮らし高齢者を励ます集い」を新型コロナウイルス感染症の感染予防のため開催できませんでした。しかし、この事業は、続けてまいります。



新型コロナウイルス感染症の影響があり、地域のサロンなどが開催されなくなってきた中、感謝と支援の輪を広げています。

今年は6月25日と26日に、その鉢を子どもたちが、校区の民生委員と一緒に一人暮らしの高齢者約90人を訪問し、笑顔と一緒に手渡ししました。交流の輪が広がります。



一人暮らし高齢者への給食サービス

花だより事業
世代間文流